

令和5年度

講師研修会 2

「特別の教科 道徳」について



岐阜教育事務所

本日の内容



1 「特別の教科 道徳」について

2 道徳科について

3 ICTの活用について

4 いのちの教育との関わり

道徳教育は、教育活動全体で行われる



1 「特別の教科
道徳」について

2 道徳科
について

3 ICTの活用
について

4 いのちの教育と
の関わり

道徳教育

教育活動全体で育む
「よりよく生きるための基盤となる道徳性」

道徳科

道徳的判断力・心情・
実践意欲・態度

特別の教科 道徳で育む内面的資質（心）



1 「特別の教科
道徳」について

2 道徳科
について

3 ICTの活用
について

4 いのちの教育と
の関わり

道徳性（人間としてよりよく生きようとする人格的特性）

道徳的判断力

それぞれの場面で善悪を判断する能力

道徳的心情

道徳的価値の大切さを感じ取り、善を行うことを喜び、悪を憎む感情

道徳的実践意欲

道徳的判断力や道徳的心情を基盤とし道徳的価値を実現しようとする意志の働き

道徳的態度

道徳的判断力や道徳的心情に裏付けられた具体的な道徳的行為への身構え

内面的資質（心）

1 「特別の教科 道徳」について

2 道徳科 について

3 ICTの活用 について

4 いのちの教育と の関わり

内容項目

- ・児童が人間として他者とよりよく生きていく上で学ぶことが必要と考えられる道徳的価値を含む内容を、短い文章で平易に表現したもの
- ・道徳科はもとより、全教育活動において、指導されなければならない。

「小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 特別の教科 道徳編」(文部科学省)より

道徳教育における内容項目



1 「特別の教科
道徳」について

2 道徳科
について

3 ICTの活用
について

4 いのちの教育と
の関わり

内容項目

中心となる内容項目

C-(11)
規則の尊重

C-(10)
遵法精神、公德心

関連し合う内容項目



1 「特別の教科
道徳」について

2 道徳科
について

3 ICTの活用
について

4 いのちの教育と
の関わり

〇〇小学校 年間指導計画(2年)

特別の教科道徳科において

補充

深化

統合

考え議論する道徳の捉え方



1 「特別の教科
道徳」について

2 道徳科
について

3 ICTの活用
について

4 いのちの教育と
の関わり

考え議論する道徳とは・・・

主体的

対話的

深い学び

考え

議論する

自分の考えをもつ

交流する

新たな自分の
考えに気付く

自己理解

他者理解

確かな自己理解

3つの理解と自己見つけ



1 「特別の教科
道徳」について

2 道徳科
について

3 ICTの活用
について

4 いのちの教育と
の関わり

教材の分析

人間理解（弱さへの共感）

道徳的価値は大切であってもなかなか実現することができない人間の弱さなども理解すること

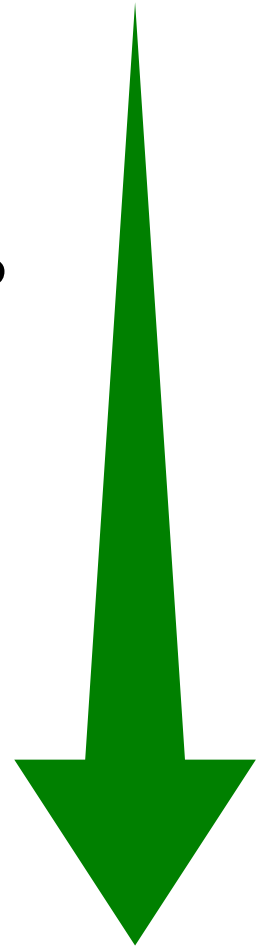
他者理解（多様性の理解）

道徳的価値を実現したり、実現できなかったりする場合の感じ方、考え方は一つではない、多様であるということを前提として理解すること

価値理解（価値への気付き）

内容項目を、人間としてよりよく生きる上で大切なことであると理解すること

確かな自己理解
（自己見つけ）



人間理解と価値理解



1 「特別の教科
道徳」について

2 道徳科
について

3 ICTの活用
について

4 いのちの教育と
の関わり

道徳的価値は大切である

価値理解

他者理解

人間理解

なかなか実現することが
できない人間の弱さ

授業展開の基本



1 「特別の教科
道徳」について

2 道徳科
について

3 ICTの活用
について

4 いのちの教育と
の関わり

	学習活動	指導・援助
導入	1. 主題について問題意識をもったり興味を高めたりする	ICTの活用 等
展開前段	2. 教材を手... 論する	【 <u>深めの発問</u> 】 等
	○ ◎	
展開後段	3. 道徳的価値の理解を基に、深く自己を見つ	
	○	
終末	4. 今後の発展につなぐ ・教師の説話等	ICTの活用 等

基本発問：人間理解を促す発問

基本発問：価値理解を促す発問

中心発問

基本発問：自己見つけめにつなげる発問や指示



ICTの活用について



1 「特別の教科
道徳」について

心の動きをポジ
ショニングで示す

可視化

2 道徳科
について

資料の補足としての
映像資料等

共有

3 ICTの活用
について

学びの蓄積

振り返りの蓄積

(道徳においては、扱い方に注意)

4 いのちの教育と
の関わり

業務の
効率化

ICTの活用について



1 「特別の教科
道徳」について

2 道徳科
について

3 ICTの活用
について

4 いのちの教育と
の関わり

時として、子どもの道徳嫌いを
助長してしまう可能性もある。

みんなに見られ
るから、良いこと
を書いておいた
方がいい。

理想論を考える
のが道徳なんだ。
かっこいいこと言
えばいいんでしょ。

ぎふいのちの教育との関わり



1 「特別の教科
道徳」について

2 道徳科
について

3 ICTの活用
について

4 いのちの教育と
の関わり

令和4年度の岐阜地区の実践より

○「考え、議論する道徳科の授業」の充実が図られ、自己を見つめ、生き方についての考えを深める児童生徒の姿につながった。

▲「夢や希望をもてないでいる、あるいは、自己有用感が低下している児童生徒に対し、道徳教育を通じてどのような指導・支援ができるか」という視点から、現在の指導を振り返ることに課題がある。

ぎふいのちの教育との関わり



「ぎふいのちの教育」を基盤に(横断的・意図的に取組を深化)

1 「特別の教科 道徳」について

2 道徳科 について

3 ICTの活用 について

4 いのちの教育と の関わり

◇命の尊厳
【生命の尊さ／かけがえのない命】

◇生き方を考える
【生きる喜び／よりよく生きる】

「生命の尊厳」の柱

- いじめはどこにでも発生するが教師には見えにくいことを自覚し、小さな兆候でもいじめととらえて、チームで対応する。
- 不登校児童生徒の不安を受け止め、気軽に話せる人や、安心して活動できる場所を見つけるなど、つながりを増やす。
- 自殺を予防するために、SOSの出し方を示し、保護者や専門機関と連携して、児童生徒の発するSOSを見逃さない。
- 虐待や性被害のから守るために、気になる兆候があれば、躊躇せずに管理職へ報告し、組織で対応する。
- 心のアンケートや日常的な教育相談を継続させ、児童生徒の変化をとらえる。

「生き方の追求」の柱

- 教科等の授業では、児童生徒一人一人が学ぶ喜びを自覚することができるよう、常に授業改善に取り組む。
- 学級活動や行事への取り組みでは、自分や仲間のよさを認め合う、温かい人間関係づくりを最優先課題にして取り組む。
- 道徳や総合的な学習の時間では、児童生徒が社会や未来に目を向け、自ら課題を見出し、夢や憧れを抱きながら他者と協働していく体験活動に取り組む。